



TOTO

ウォシュレット® アプリコット 施工説明書

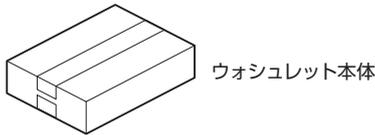
washLÉT
apricot

◆「ウォシュレット」はTOTO株式会社の登録商標です。

●施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。

施工業者様へ

- ウォシュレット専用便器洗浄ユニットは別包装となります。(オート便器洗浄付の場合)



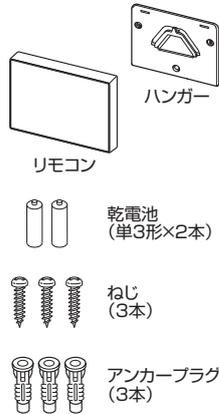
別包装



同梱部品

※使用しない場合は、必ずお客様にお渡しください。

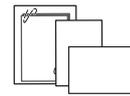
リモコン部品



分岐金具



印刷物



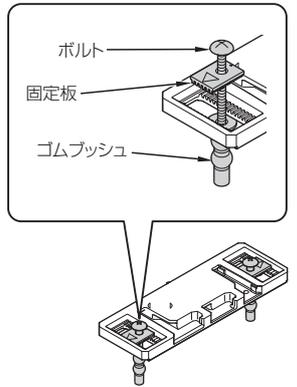
クッション



1個
※同梱の取付説明書に従い、取り付けを行ってください。

ベースプレート式

※分解しないでください。



安全に関するご注意 安全上の警告・注意事項を必ず守ってください。

絵表示の例 禁止してはいけない「禁止」の内容です。 必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告 死亡や重傷を負う可能性がある内容です。

- 浴室など湿気の多い場所には設置しない(火災、感電、発熱、ショートの原因になります。)
- 指定する電源(交流100V)以外では使用しない(火災や発熱の原因になります。)
- 電源プラグやコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいまま使用しない(火災や感電の原因になります。)
- 水道水および飲用可能な井戸水(地下水)以外は使用しない(故障や皮膚の炎症などを起こす原因になります。)
- コンセントは給水位置の真下に設置しない(結露水などによりコンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。)
- 給水ホースは電源プラグ、コンセントに接触させない(結露水などによりコンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。)
- 車輻・船舶など、移動体への設置はしない(火災や感電、ショート、故障などの原因になります。)(便座・便ふた・ウォシュレット本体などがはずれて落下し、けがをする原因になります。)
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む(プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や発熱・ショートの原因になります。)

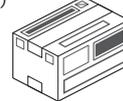
- <2Pプラグの場合>
●アース(D種接地)を確実に取り付ける(アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。)
- <3Pプラグの場合>
●必ず接地アース極付コンセントに差し込む(変換アダプタなどを使用し、2口のコンセントに差し込むと、感電の原因になります。)

注意 傷害や物的損害が発生する可能性がある内容です。

- 便座・便ふたを持って製品を持ち上げない(ウォシュレット本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。)
- 給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない、カッターなどで傷つけない(水漏れの原因になります。)
- 止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない(水が噴き出します。)
- 施工は施工説明書に従って確実に行う(正しく取り付けないと水漏れ、感電、火災の原因になります。)
- 給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは確実に締める(確実に締めないと水漏れの原因になります。)
- ウォシュレット本体は、ベースプレートに確実に押し込む(「カチッ」と音がするまで押し込んだあと、軽く手前に引っ張って製品がはずれないことを確認してください。)(ウォシュレット本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。)
- 電池の＋表示をよく確かめて入れる(電池の液漏れ、発熱、破裂や発火の原因になります。)
- 長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出しておく(電池の液漏れの原因になります。)

別包装部品

ウォシュレット専用便器洗浄ユニット
(オート便器洗浄付のみ)



※リモコン用「流すボタン」も同梱されています。

(取付説明書付)



取り付け前のご注意

すでにベースプレートが付いている製品を取り替える場合でも、必ず同梱のベースプレートに取り替えてください。
※旧型のベースプレートではウォシュレットの取り付けができません。

1. 製品への通電および通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。
2. 便器に取り付ける前に、通電しないでください。故障の原因になります。
3. 給水ホースの先端接続部にキズを付けないようにしてください。
4. 電源は交流100V(50/60Hz)です。
右表の、電力に適した配線をしているか確認してください。
5. 電源コードの長さは約1mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
6. 給水圧力範囲は0.05MPa(流動時)~0.75MPa(静止時)です。この圧力範囲でご使用ください。
7. 給水温度は0~35℃です。この温度範囲でご使用ください。
8. 同梱以外の分岐金具、パッキンを使わないでください。
9. オート便器洗浄付の場合…必ずウォシュレット専用便器洗浄ユニットを取り付けてからウォシュレット本体をセットしてください。※施工のしやすさ、キズ防止のため。
10. 便ふたがロータンクふたや壁などに当たる際の音軽減のため、同梱のクッションを必ず貼り付けてください。

※出荷前に通水検査をしていますので、製品内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

下記の場合はTOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンターへご連絡ください。
TEL ☎0120-8282-55 FAX ☎0120-8272-99

※仕様・品番などは予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

他社製便器に取り付ける場合

便器取付穴の深さと径が右表の場合は、同梱のベースプレート固定部材だけで施工しないでください。ウォシュレット本体のキズ防止のための専用部材をご購入ください。

便器取付穴		品番
深さ(mm)	径	
36以下	φ19~21	TCA312
36~80	-	TCA310
70~110	(測定不要)	TCA310

給水ホースの長さ不足の場合

給水ホースの長さは約950mmです。給水取り出し位置は、ウォシュレット本体が着脱できる余裕を設けてください。もし給水ホースの長さが足りない場合は、右表の中から適切な長さのホースをご購入ください。

給水ホース長さ違い一覧表	
給水ホース長さ(mm)	品番
1180	TCA330
1480	TCA331
1980	TCA332

右給水の隣付タンクへ接続する場合

給水ホースの長さが足りません。別売品の中継金具(品番:TCA58R)をご購入ください。

止水栓の先端で給水が分岐しているタイプから取り替える場合

別売品の分岐金具(品番:TCA158)をご購入ください。

給水コンセントへ接続する場合

別売品のアダプタ(品番:TH778S)をご購入ください。

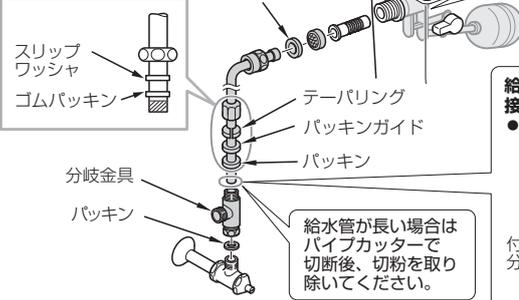
取付方法

- 機種によっては製品の形状などが異なります。
- 分岐金具・パッキンは必ず同梱のものを使用してください。

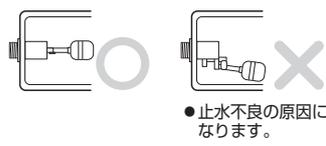
1 止水栓を閉める

2 分岐金具の接続

接続部にテーパリング
を使用していない場合

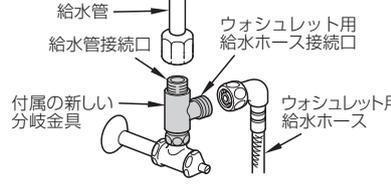


注意 タンクの真上から見たボールタップ

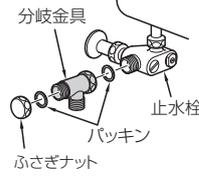


給水管とウォシュレット用給水ホースの接続口を間違えない

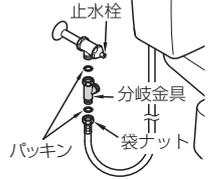
●水漏れの原因になります。



ワンピース便器へ
接続する場合

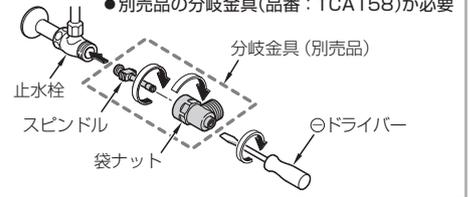


給水ホースがタンクの下側
から出ているタイプの場合



止水栓の先端で給水が分岐している
タイプから取り替える場合

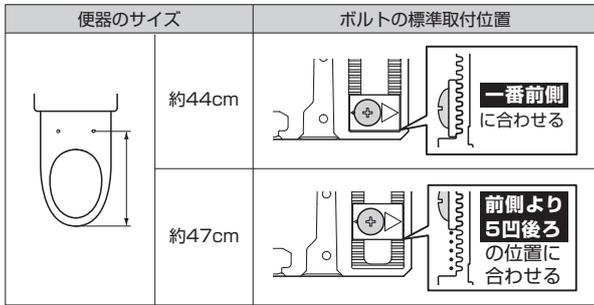
●別売品の分岐金具(品番: TCA158)が必要



3 ウォシュレット本体の取り付け

- ベースプレートは必ず同梱のものを使用してください。

① ベースプレートのボルト取付位置を調整する

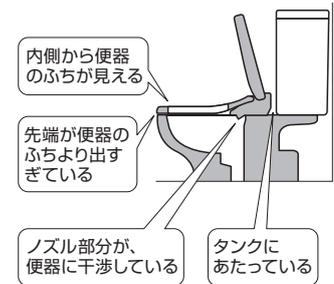


② 便器にベースプレートを仮固定する

- ベースプレートが動かなくなるまで、ボルトを締めてください。

③ ウォシュレット本体を取り付け、以下の確認を行う

- ※次の場合は、もう一度ベースプレートのボルト取付位置を調整してください。

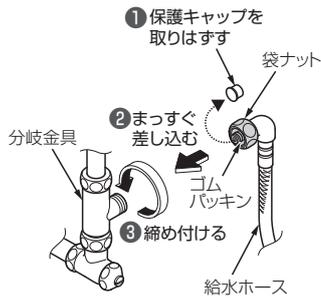


- ウォシュレット本体を取りはずす

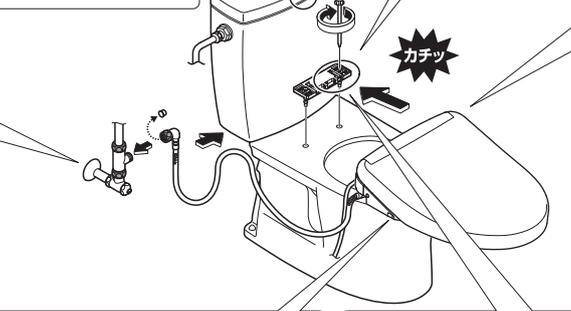


⑥ 給水ホースの袋ナットを分岐金具に締め付ける

- ※給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしないでください。
- ※給水ホースはタンクの後ろに取めてください。



⑦ クッションに付属の取付説明書に従い、クッションを必ず貼り付ける



⑤ ウォシュレット本体を取り付ける

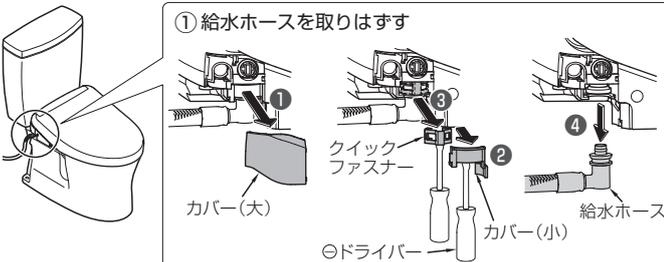
- ※手前に引っ張って製品がはずれないことを確認してください。

④ ボルトが回らなくなるまで、しっかり締め付ける



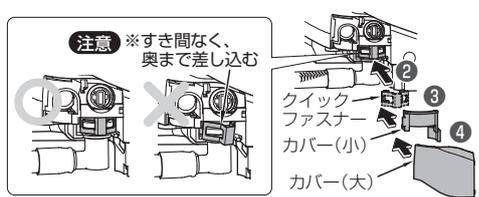
取り付けた状態でウォシュレット本体が着脱できないときは、適切な長さのホースをご購入ください。(表紙 **給水ホースの長さ不足の場合** 参照)

長さ違いの給水ホースを取り付ける場合

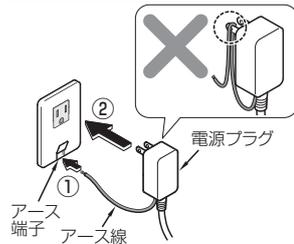


② 給水ホースを取り付ける

注意 ※すき間なく、奥まで差し込む



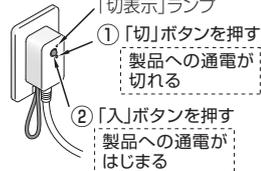
電源プラグ(アース線)の接続と確認



3Pプラグの場合



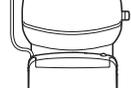
- ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認する
- 電源プラグの動作確認をする



「切表示」ランプが、①で点灯、②で消灯すれば正常です。

コンセントが電源コードの反対側にある場合

電源コードはタンクの裏側から通す



リモコンの取り付け

1 オート便器洗浄付の場合

流すボタンの取り付け

ウォシュレット専用便器洗浄ユニットに同梱の取付説明書に従い、流すボタンを取り付ける

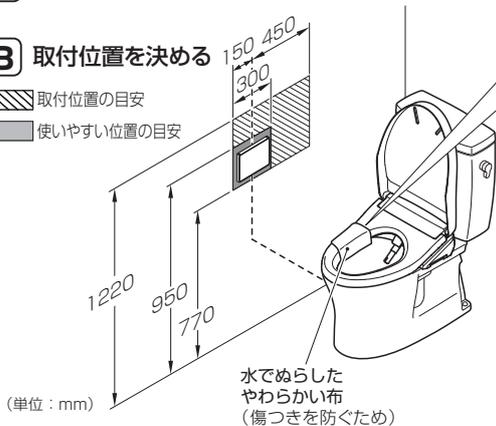
リモコンには、流すボタンが取り付けられていません。必ず取り付けてください。



2 リモコンに乾電池を入れる

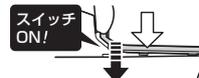
3 取付位置を決める

- 取付位置の目安
- 使いやすい位置の目安



【作動の確認】

- ① 便座の左側を手で押し、着座スイッチを入れる
- ② 「おしり」ボタンを押してノズルが伸出することを確認する
- ③ 「止」ボタンを押す



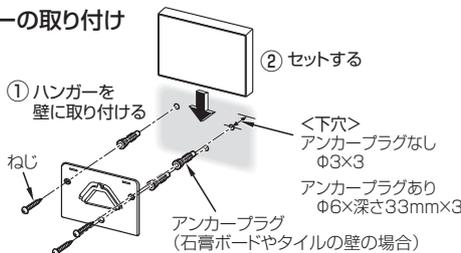
<作動しない場合>

→ リモコンの位置を変えるか、反対側の壁で確認

※ 下記の場合、リモコンの受信性能が変わり、ウォシュレット本体が作動しないことがあります。

- 室内の広さ、器具のレイアウトなどの条件が合わないとき
- 天井や壁の色(黒っぽい場合)・形状・材質などの条件が合わないとき
- 後ろ壁に棚やキャビネットなどがあるとき
- インバーター方式の照明下のとき

4 ハンガーの取り付け



5 オート便器洗浄付の場合

便器洗浄モードの設定を必ず行ってください。

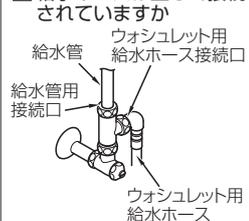
設定方法はウォシュレット専用便器洗浄ユニットに同梱の施工説明書をご覧ください。

試運転 (各項目を確認後、□に✓してください)

- 試運転の前および試運転完了時は、必ず電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。(ウォシュレット本体表示部の「運転」ランプが点灯します。)

1 ウォシュレット本体の確認

□ 給水ホースは正しく接続されていますか



□ 手前に引っ張ったとき、ウォシュレット本体がはずれませんか
→ ウォシュレット本体を、ベースプレートに「カチッ」と音がするまで押し込む

□ 以下に当てはまりませんか

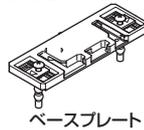
内側から便器のふちが見える

先端が便器のふちより出すぎている

ノズル部分が、便器に干渉している

タンクにあたっている

□ 同梱部品を使用していますか



※ 従来のものと形状が異なるため、取り付けできません。



※ 従来のものとシール方法が異なるため、水漏れの原因になります。

2 機能の確認

□ 止水栓を開ける



□ 水漏れチェック → 水漏れする場合

□ 同梱部品を使用していますか
● ● (施工タイプにより) パッキン (一枚しか使用しない) 2枚 場合があります。
※ 新しいものを使用しないと、水漏れの原因になります。

□ 「運転」ランプが点灯していますか



<運転>

□ ノズルから洗浄水が出ますか

- ① 水でぬらしたやわらかい布 (傷つきを防ぐため)
- ② 便座の左側を手で押し、着座スイッチを入れる

【作動の確認】



- ④ 「おしり」ボタンを押す
- ⑤ 「止」ボタンを押す



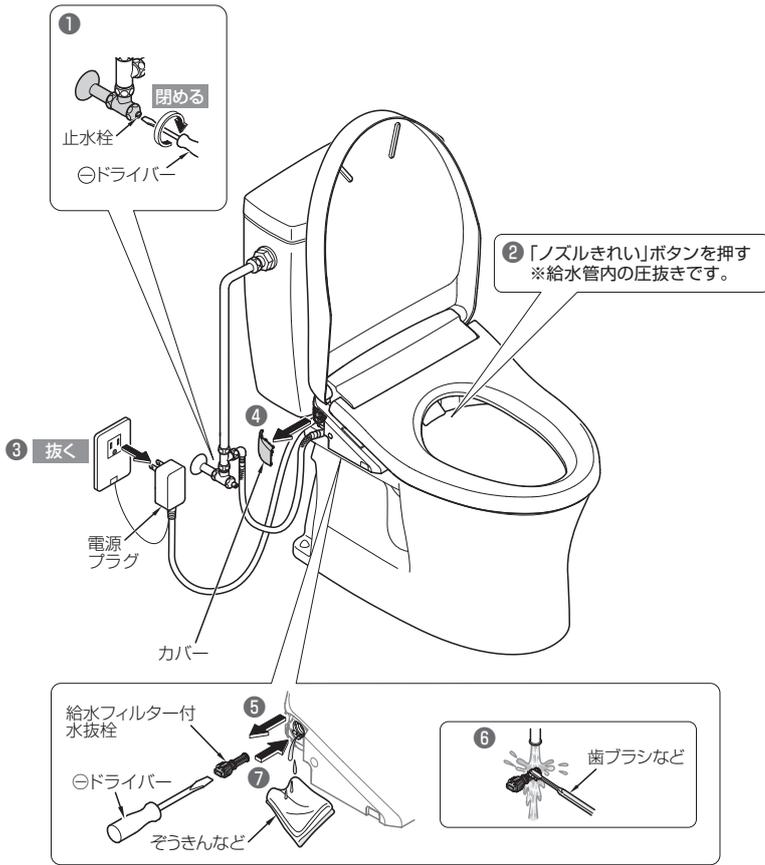
□ リモコンで便ふたがきちんと開きますか (オートふたの開閉付のみ)
※ 3回続けて開いた位置を記憶します。

便ふたが途中で止まるようになった場合

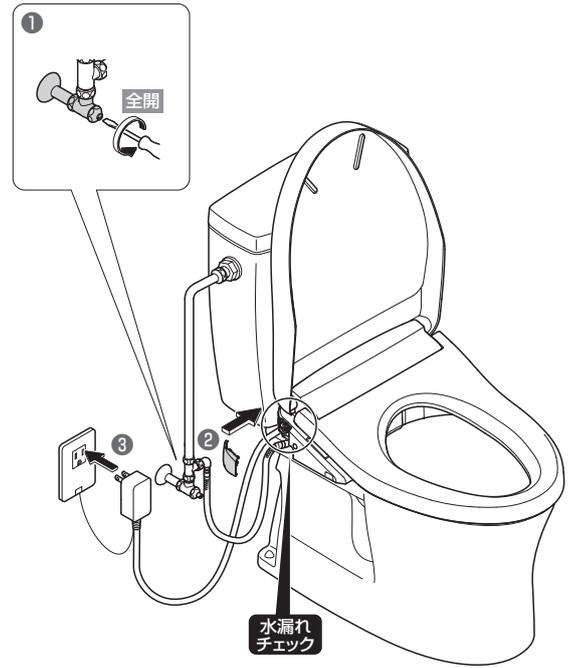
- ① 障害物を取り除く
※ 便ふたとケースカバーの間に緩衝材がある場合は、取り除いてください。
- ② 電源プラグをはずし、5秒後に差し込む
- ③ リモコンの「便座開閉」ボタンを押す

給水フィルター付水抜栓の掃除（試運転後）

①

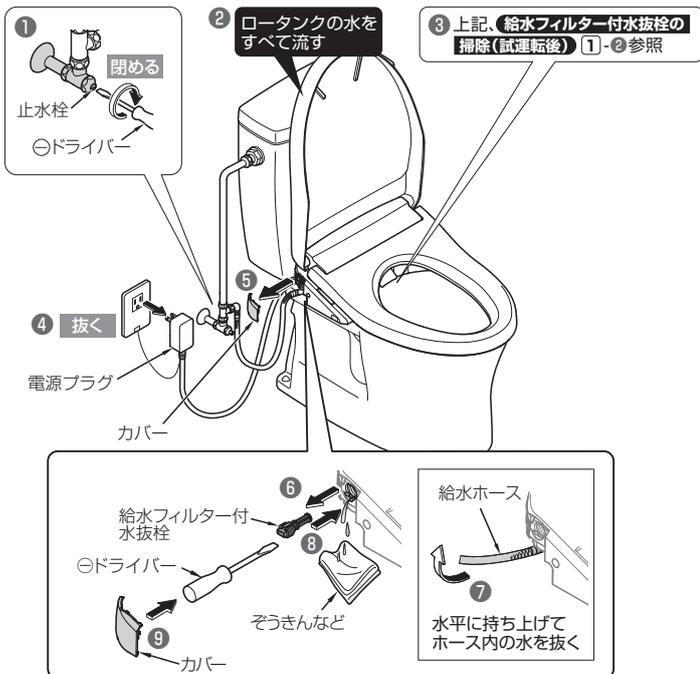


②

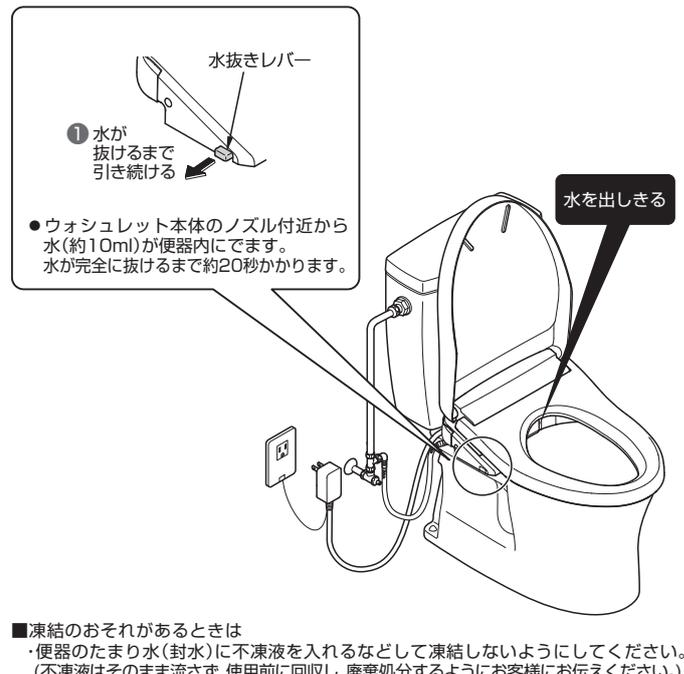


製品引き渡しまでの期間が長い場合

① 配管の水を抜く



② ウォシュレット本体内の水を抜く



施工業者様へ

- 取扱説明書の保証書に必要事項を記入のうえ、お客様にお渡しください。
- ウォシュレットの機能、使いかたについてお客様に説明してください。電源プラグは抜いたままにしておいてください。